

平成18年6月定例会会議録（第3号）

平成18年6月13日 火曜日 午前10時00分開議

大 沼 久 議 長 蒲 生 光 男 副議長

出 席 議 員 （19名）

1 番	我 妻	昇	議員	2 番	内 谷	重 治	議員
3 番	大 道 寺	信	議員	4 番	谷 口	栄 子	議員
5 番	佐々木	謙 二	議員	6 番	安 部	隆	議員
7 番	町 田	義 昭	議員	9 番	蒲 生	光 男	議員
10 番	渋 谷	佐 輔	議員	11 番	高 橋	孝 夫	議員
12 番	鈴 木	武 次	議員	13 番	小 関	勝 助	議員
14 番	鈴 木	良 雄	議員	15 番	鈴 木	小 市	議員
16 番	藤 原	民 夫	議員	17 番	蒲 生	吉 夫	議員
18 番	佐々木	榮 七	議員	19 番	島 田	友 市	議員
21 番	大 沼	久	議員				

+

欠 席 議 員 （2名）

8 番 鳥 谷 政 一 議員 20 番 鈴 木 新 助 議員

説 明 の た め 出 席 し た 者

目 黒 栄 樹 市 長	長谷部 宇 一 助 役
佐 藤 義 夫 収 入 役	総務課長兼選挙管
松 本 弘 財 政 課 長	理委員会事務局長
中 井 晃 税 務 課 長	企 画 調 整 課 長
船 山 祐 子 健 康 課 長	小 泉 良 一 市 民 課 長
高 橋 信 夫 会 計 課 長	平 英 一 福 祉 事 務 所 長
飯 田 武 志 監 査 委 員	金 田 寿 一 消 防 主 幹
大 滝 昌 利 教 育 長	田 中 勝 男 教 育 委 員 長
梅 津 和 士 農 林 課 長	安 部 嘉 徳 選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長
浅 野 敏 明 建 設 課 長	齋 藤 理 喜 夫 商 工 観 光 課 長
	梅 津 敏 昭 管 理 課 長

+

那 須 宗 一	文化生涯学習課長	遠 藤 正 明	農業委員会事務局長
鈴 木 要一郎	水道事業所長	平 正 行	市民文化会館長
堀 邦 夫	学校給食共同調理場長	沼 澤 厚 子	監査委員事務局長

事務局職員出席者

佐 藤 仁	議会事務局長	児 玉 行 宏	補	佐
五十嵐 恵美子	主 任	塚 田 知 広	主	事

議 事 日 程 (第 3 号)

平成18年6月13日 火曜日 午前10時00分開議

- 日程第 1 市政一般に関する質問
10番 渋谷 佐 輔 議員
4番 谷 口 栄 子 議員

本日の会議に付した事件

議事日程 (第 3 号) に同じ

+

+

+

開 議

○大沼 久議長 おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議に欠席の通告議員は、8番、鳥谷政一議員、20番、鈴木新助議員の2名であります。よって、ただいまの出席議員は定足数に達しております。

なお、本日の会議に平 正行市民文化会館長の出席を要請しておりますので、ご報告いたします。

また、小関秀一農業委員会会長から、本日の会議を欠席してほしい旨の申し出があり、許可いたしましたので、ご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第3号をもって進めます。

日程第1 市政一般に関する質問

○大沼 久議長 日程第1、市政一般に関する質問を昨日に引き続き行います。

渋谷佐輔議員の質問

○大沼 久議長 それでは、順次ご指名いたします。

順位6番、議席番号10番、渋谷佐輔議員。

(10番渋谷佐輔議員登壇)

○10番 渋谷佐輔議員 おはようございます。

私は、通告しております3点について、順次質問させていただきます。

まず、第1番目、児童の安全対策についてで

ございます。

この質問をテーマに選ぶことについては、遺族、家族の心中を察したとき、大変ちゅうちょしました。しかし、今、命の大切さやとうとさを、政治や政策の中で、安心安全の社会、まちづくりを進める教訓として、風化させないためにも、あえて登壇させていただき、テーマとして選ばせていただきました。

最近の新聞、テレビの報道番組やニュースでご承知のように、子供、特に低学年児童の事件への関与、事故に巻き込まれるケースが非常に多いと思われまます。長井市においても先般、野川の水辺での水難事故死、また昨年7月には楽しく自転車で遊んでいたはずの児童が、10カ月に及ぶ家族の看護むなしく他界いたしました。私は何とも言いようの悔しさ、切なさ、無念さを覚えてなりません。なぜ、どうしてなどと責任や原因を今問いただすつもりはございません。しかし、二度と再びこのようなことがあってはなりません。今は亡き、幼い磨けば光るダイヤモンドの原石の、その死を教訓として、安全対策にみんなが万全を期すべきじゃないかと思うだけであります。

安全対策においては、学校当局、そして親御さんたちのPTA、あるいは地域の子供育成会などなど、それぞれの立場で取り組みがなされており、その努力に感謝と敬意を申し上げたい気持ちでいっぱいです。これ以上に何かあるのかと言われれば、明快な即効薬的な手段はなかなか見当たりません。しかし、事故に遭遇した二人に共通することが見受けられ、考えられます。一つは、なかなか人目が届きにくい場所。市街地や人が多く集まりやすい場所ではなかった。一つは、小学校低学年であり、安全に対する判断が非常に難しい年齢層であること。好奇心が盛んな年ごろかと思えます。一つは、放課後の最も解放感の生まれる時間帯であること。もっとあるかもしれません。